

生活者 通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.406
2025.7.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可



生活者ネットワーク3つのルール

1

議員は交代制（ローテーション）

生活者ネットワークの議員は、交代制。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。

都議会ネット

■6月22日投開票の都議会議員選挙で新たな127名が決定した。現在の議員の任期は7月22日まで。都議会臨時会は8月8日の予定で、正副議長等が決まる予定。

地域ネット

目黒ネット

増茂しのぶの区政報告&かんたん金継ぎ講座
7月13日（日）10:00～11:30 鷹番住区センター（学芸大学駅）／17日（木）10:00～11:30 楽屋（上目黒2-15-6）（中目黒駅）
対象：目黒区にお住まいの方 参加費：500円 要申し込み 03-3791-8069

福生ネット

不安虫ちゃんの参加型パネル展 香害（こうがい）ってなあに？
7月18日（金）10:30～18:00／19日（土）10:00～18:00／20日（日）10:00～18:00（入場17:00まで） 福生市プチギャラリー（福生駅） 042-553-0701

葛飾ネット

議会報告会&学習会 オンライン併用
7月19日（土）14:00～16:00 カナマチぶらっと（金町駅、京成金町駅） 議会報告：区議会議員・沼田たか子／子ども・若者のための街の保健室ユースウエルネスKuKuNaってどんな場所？ お話：幸崎若菜さん（まつしま病院ユースウエルネスKuKuNa室長） 03-5876-4757

清瀬ネット

生活のお困りごと相談ください（毎月第3日曜日）
7月20日（日）14:00～16:00 清瀬・生活者ネットワーク事務所（清瀬駅） 家計相談員が対応します（無料・秘密厳守）。介護のご相談もどうぞ 042-494-8720

練馬ネット

「戦争はしない・原発はいらない」9条スタンディング（毎月9日）
8月9日（土）12:00～13:00 練馬駅南口 03-3993-4899

生活者ネットワークは東京都内32の自治体にあり、都議1人、市・区議38人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

2025
都議選

岩永やす代！自民を制し1位当選 高岡じゅん子（次点）、小松久子（次々点）議席に届かず

2025 東京都議会選挙が終了しました。生活者ネットワークは、「あなたの選択が、東京を変える。」をスローガンに、裏金をつくらない都議会に変えよう、巨大な噴水や都市計画道路など開発優先の小池都政を止めよう、東京から脱原発・脱気候危機を進めよう、と訴えました。しかし、結果は、政治とカネ問題まみれの自民党が大敗したものの、都民ファーストの会が第1党、議席がなかった国民民主党、参政党が議席を得ることになりました（投票率47・59%で前回比5・2%増）。生活者ネットワークは、混戦のなか、世田谷、杉並が善戦するも議席に届かず、北多摩第二選挙区の1議席にとどまりました。

東京も2030年には人口減少に転じます。少子・超高齢社会における子育てや介護など深刻な問題は、実態や現場に即した政策でなくては役に立ちません。地域を知り、そこに暮らす一人ひとりに向き合い、市民自治を実践する生活者ネットワークの存在意義を今後も立証してまいります。〈東京・生活者ネットワーク代表委員 山内玲子〉

北多摩第二 （国分寺市・国立市） 岩永やす代選対 選対長 山内玲子

北多摩第二選挙区は、国分寺市・国立市の2市に及ぶため、市民の関心、地域の課題も異なります。そのため、日ごろから議会報告レポートの配布に地域を歩き、まちや暮らしの変化などを共有し、話し合っています。

選挙期間中は、市長選、市議補選のある国分寺と都議選のみの国立では、温度差がかなりあります。国政選挙なみに、他党にも国会議員等が駆けつけるため、私たちも応戦しました。くまなく地域を回り、街頭街宣は大きく、そしてまたくま



なく地域を回る。息つく暇もない9日間でした。
毎回うれいのは、1985年の都議発祥に開いた先輩、市民活動をしている市民、ネットの理念に共感する市民の皆さんの支えです。「いつも頑張ってくれてありがとう！」の言葉に、「市民自治」を実感しています。

岩永やす代

暑くて熱い毎日を、全力で駆け抜けた9日間でした。
日を重ねるにつれ、「頑張れ！」「入れました！」「これから投票に行くよ！」など、反応も増え広がりを感じました。裏金のないクリーンな政治、福祉を優先し、人口減少社会をみすえて大型再開発や大規模公

共工事ではなく水と緑と環境をまもる「東京を生活優先のまちへ」と訴えました。政治の主役はまちに暮らす市民です。投票で政治が変われば、まちや暮らしを変えることができる。だからともに変えていこうと。
都議会で40年間つないだ生活者ネットワークのバトン、市民の議席をまもることができました。いよいよ2期目のスタートです。新たな気持ちで多くの市民とともに活動してまいります！



東京都議会議員選挙結果

2025年6月22日投開票 投票率47.59%（前回42.39%）

選挙区	候補者名	現・新・元	当・落	順位	定数	候補者数	得票数
北多摩第二 （国分寺市・国立市）	いわながやすよ 岩永康代	現	当	1位	2	5	29,630
世田谷区	たかおかじゅんこ 高岡潤子	新	落	9位 （次点）	8	18	20,770
杉並区	こまつりさこ 小松久子	元	落	8位 （次々点）	6	17	14,267

みなさまのカンパを募集しています。郵便振替口座番号 00130-3-18417 加入者名「東京・生活者ネットワーク」



東京都議会選挙の意味

山口二郎 政治学者／法政大学教授

東京都議会選挙の結果を読みとる際、小池百合子知事を3つの与党と、都政野党および今回初めて都議会に挑戦した政党に分けて見る必要がある。

今や東京一極集中は加速し、東京都はとびぬけて豊かな自治体となっている。これだけ税收があれば誰が知事を務めても、給付を行い、人気を集めることができると言いたくなる。したがって、小池与党は有利に戦うはずであった。しかし、都民ファーストは都議会第一党の地位を取り戻したものの、自民党は大敗し、公明党も減少した。これは今後の国政にも大きな影響を与えるだろう。

東京オリンピック以来、都政の隠蔽体質と無駄遣いが目立っている。小池都政の開発志向に対する批判的な意見を持ち、自民党の腐敗体質、あるいは国政における自公の与党体制に不満を持つ都民も存在するが、ネットを含め既存野党は受け皿になれなかった。

そうした不満の受け皿として、この選挙で国民民主党と参政党が初めて議席を獲得した。とくに後者の進出は憂慮すべき兆候である。この党は、生態系重視に反エリート主義、反知性主義、排外主義を組み合わせた、西欧の極右政党に似たものである。自民党に対する不満が極右に流れる危険が日本でも顕在化している。

華やかな都会の中で、堅実に生きる人々にとって、住宅価格の高騰、物価高で住みにくさは増している。また、少子化と高齢化はこれから東京にのしかかるのであり、老いること、子どもを産み育てることが一層難しくなることは容易に予想できる。中東危機のなかでエネルギー供給がおぼつかなくなり、コメ不足が示すように食料供給も危うくなる時代に、生活者の政治は試練を迎えている。繁栄の虚構を見抜き、生活者の政治を再生するために、ネットは、地域レベルから政策のペースメーカーとなるべく、一層奮起すべき時である。ネットが議席を増やせなかったのは、組織の高齢化も反映しているのではないか。女性の政治参加を拡大する新しい運動とも連携して、議員のリクルートの拡大に向けて、再検討が必要ではないか。



都議選を一緒に戦って

池田あつ子 元都議会議員／NPO法人役員

現在のところ否応なく都議選の季節は芽吹き頃、4年に一度廻ってくる。期待する花を咲かせるには安全で十分な土や水や空気を必要とする。それには育ててほしいと願う者の不断の努力が必要だ。

2025年6月22日投票日の都議会議員選挙で、北多摩2区では2人枠のトップ当選を果たすことができた。投票率は51.70%、(国分寺54.39、国立47.20)。今期、東京ネットは都議会議員の複数化を果たすべく世田谷区(49.70%)と杉並区(51.15%)でも候補者を擁立し選挙戦を戦った。東京全体の投票率は過去5番目に低い47.59%だった。

私は、投票日2日前の各地の駅頭で政策の訴えを聞きに現地に行った。その時、駅前や商店街の20代と思われる若者10人に「投票日を知っていますか」、「何の選挙が知っていますか」の2問について、アンケートを取った。すると目の前に選挙カーが居て候補者がマイクを持って話しているにも関わらず「え、知りません」と駅前の飲食店に入ろうする者も含め8人が回答、「今日の日曜日ですよ」との回答は2人だったがなんの選挙かはいずれもわからない。この状況を候補者側に伝えたと「若者も2極化しているようですね」との受け止めだった。その結果は、実際に投票率に反映されている通りである。

誰もが平等に持っている参政権、投票権を使うことさえ惜しいと思わない若者との会話は現実なのだ。

生活者ネットの政治は、この参政権を使いこなそうとする運動として、普通に暮らしを営む女性たちが立候補の権利を使い、投票権を使いこなす運動でもある。議会の解散がなければ、4年毎に参政権をまず使うことが政治参加の一步である。

都議選の運動期間は9日間、市議会や区議会の運動期間は7日間。この期間に花を咲かせられるよう、不断の努力を忘れない日々を過ごしたいと改めて感じる結果となった。



世田谷区 高岡じゅん子選対

選対長 西崎光子

例年激戦が繰り広げられる世田谷選挙区。

今回は、8つの議席を18人で争う厳しい選挙でした。参議院選挙の前哨戦ということもあり政党に注目が集まり、新たに参政党、国民民主党が議席を獲得する結果となりました。

自民党の裏金問題で公認を外された議員は、議席を失いましたが、この受け皿は都民ファーストになり、2議席獲得。生活者ネットワークの高岡じゅん子は、全力で戦いましたが、残念ながら次点でした。選挙戦は、以前に増して有権者からの反応があり手ごたえを感じましたが、議席獲得出来ず悔しい限りです。今回の反省を踏まえ、次の活動につなげてまいります。

高岡じゅん子

「ひとりでも孤独じゃない社会へ」。

いまだに介護離職する人の7割が女性であることから、ケアを担うことで孤立・孤独にさせがちな社会を、5割の世帯が一人暮らし、遠距離介護やワンオペ育児の多い東京から変えていくことを訴え、多くの方から応援の声をかけていただきました。

暑い暑い選挙戦、他の候補があまり触れない気候危機対策、米の不作にも異常高温が影響していることなどを語ると反応がよく、手ごたえを感じることができました。2万770票もの投票をいただきましたが、今一步のところで届かず、悔しい結果です。今後も足元から、生活の現場から誠実に政策を訴え続けてまいります。

杉並区 小松久子選対

選対長 藤田愛子

都議選はいつも直近の国政選挙を占うものと言われています。

今回は特に12年に一度の参議院議員選挙が都議選直後にあることから殊更に前哨戦としての位置づけが顕著でした。

都政の巨大開発中心の発想をストップ、人口減少社会を見据えたダウサイジングのまちづくりへの転換、公共事業は既存のインフラ整備を優先になど、小池都政の問題点を批判してきました。しかし、物価高を念頭に、政党の減税・消費税廃止や小池知事の水道基本料金免除などバラマキ合戦が繰り広げられました。私たちの環境福祉優先の都政や情報公開・自治などはかき消されてしまった感があります。議席獲得には至りませんでした。

だが、1万4000強の票に感謝しこれからも「生活者の政治」を発信し続けていきます。

小松久子

杉並は話題の新政や都民ファースト、国政政党が候補者を立て、メディア注目の激戦区となりました。他党との差別化を図るため、カリスマ党首のトップダウンではなく生活の現場から政策をつくり、50年の地道な地域活動で信頼を得て実績を積み、企業・団体献金なしのクリーンな政治、など地域政党の存在意義を遊説で訴えました。

小池都政の劇場型バラマキ体質を批判しつつ、「気候変動」「ジェンダー」「介護」「コミュニティ」など、他の候補者が言及しないテーマに力を入れて語り、街頭では幅広い世代から手応えの实感がありました。それだけに結



果は残念の一言に尽きますが、挑戦してよかったと心から思っています。

編集後記／東京・生活者ネット全体で取り組んだ2025都議選。残念ながら、議席増はかきませんでした。有権者にどのようにアプローチすればよいのか、さらに模索していかなくてはならないと思います。たゆまず、「生活者の政治」をひろげていきたい。女性参政権80年の年に。(上坂)

「生活者通信」の購読者を募集 ●定価：年間1000円

【お申し込み方法】郵便振替をご利用ください(手数料ご負担ください)。振り込みが確認され次第、「生活者通信」をお届けします。お名前・ご住所・〒番号・電話番号・開始月を明記、口座番号 00130-3-18417 加入者名「東京・生活者ネットワーク」